



# サイトサーベイ用 Cisco Mobility Express の設定

- [はじめに \(1 ページ\)](#)

## はじめに

Cisco 802.11ac Wave 2 アクセス ポイントは、仮想ワイヤレス コントローラの機能をアクセス ポイントに組み込んだ Cisco Mobility Express に対応しています。

ワイヤレス コントローラの機能を実行する Cisco Mobility Express のアクセス ポイントは、クライアントのワイヤレス接続も提供します。アクセス ポイントがサイトサーベイに使用できる内部 DHCP サーバもサポートします。

## 前提条件

1. アクセス ポイント : Cisco Mobility Express ソフトウェアを実行する Cisco 802.11ac Wave 2 アクセス ポイント。以下の AP は Cisco Mobility Express をサポートします。

アクセス ポイント	サイトサーベイの機能をサポートするリリース
1540 シリーズ	AireOS® リリース 8.5 以降
1560 シリーズ	AireOS リリース 8.3.111.0 以降
1815I シリーズ	AireOS リリース 8.4 以降
1815M シリーズ	AireOS® リリース 8.5 以降
1815W シリーズ	AireOS リリース 8.4 以降
1830 シリーズ	AireOS リリース 8.3.111.0 以降
1850 シリーズ	AireOS リリース 8.3.111.0 以降
2800 シリーズ	AireOS リリース 8.3.111.0 以降

アクセス ポイント	サイトサーベイの機能をサポートするリリース
3800 シリーズ	AireOS リリース 8.3.111.0 以降

2. 電源：サイトサーベイに使用されるアクセスポイントによりませんが、アクセスポイントに十分な電力を提供できる電源アダプタまたはバッテリーパックを使用してください。
3. コンソールケーブル（オプション）：Cisco Mobility Express は、CLI または Over-the-Air を使用して設定できます。CLI によって Cisco Mobility Express を設定する場合、アクセスポイントへのコンソール接続が必要です。

## CLI を使用したサイトサーベイのための Mobility Express の設定

### 手順

- ステップ1 アクセスポイントのコンソールに接続します。
- ステップ2 電源アダプタまたはバッテリーパックを使用してアクセスポイントの電源を入れます。
- ステップ3 アクセスポイントが完全に起動する（ワイヤレスコントローラが実行され設定待ち状態になる）まで待ちます。
- ステップ4 CLI セットアップウィザードを使用してワイヤレスコントローラを設定します。
 

(注) サイトサーベイでは、DHCP サーバは必須で、Cisco Mobility Express でサポートされます。以下に強調表示されている DHCP サーバの設定は、Cisco Mobility Express の DHCP サーバを有効にするために必須です。

```

Would you like to terminate autoinstall? [yes]:yes
Enter Administrative User Name (24 characters max):admin
Enter Administrative Password (3 to 24 characters max):Cisco123
Re-enter Administrative Password: Cisco123
System Name:[Cisco_3a:d2:b4] (31 characters max):me-wlc
Enter Country Code list(enter 'help' for a list of countries)[US]:US
Configure a NTP server now?[YES][no]:no
Configure the system time now?[YES][no]:yes
Enter the date in MM/DD/YY format:02/28/17
Enter the time in HH:MM:SS format:11:30:00
Enter timezone location index(enter 'help' for a list of timezones):5
Management Interface IP Address: 10.10.10.2
Management Interface Netmask: 255.255.255.0
Management Interface Default Router: 10.10.10.1
Create Management DHCP Scope?[yes][NO]:yes
DHCP Network: 10.10.10.0
DHCP Netmask: 255.255.255.0
Router IP: 10.10.10.1
Start DHCP IP address: 10.10.10.10
Stop DHCP IP address: 10.10.10.250
DomainName: mewlc.local
DNS Server:[OPENDNS][user DNS]OPENDNS
Create Employee Network?[YES][no]:yes
Employee Network Name(SSID):site_survey
Employee VLAN Identifier?[MGMT][1-4095]:MGMT
Employee Network Security?[PSK][enterprise]:PSK
Employee PSK Passphrase (8-38 characters): Cisco123
    
```

```
Re-enter Employee PSK Passphrase: Cisco123
Re-enter Employee PSK Passphrase: Cisco123
Create Guest Network? [yes][NO]:NO
Enable RF Parameter Optimization?[YES][no]:no
Configuration correct? If yes, system will save it and reset.[yes][NO]:yes
```

**ステップ 5** アクセスポイントが完全に起動するまで待ちます。ワイヤレスコントローラ機能が実行された後で、初期セットアップウィザード中に設定した管理ユーザ名またはパスワードを使用してコントローラに再度ログインします。

**ステップ 6** (オプション) : CLI のセットアップウィザード中に、従業員ネットワークセキュリティは、PSK に設定されています。これにより、クライアントの簡単な接続を無効にできます。不必要なクライアントが SSID に接続しないように SSID ブロードキャストを無効にすることもできます。PSK と SSID ブロードキャストを無効にするには、コントローラ CLI で次のコマンドを入力します。

```
(Cisco Controller)>config wlan disable 1
(Cisco Controller)>config wlan security wpa disable 1
(Cisco Controller)>config wlan broadcast-ssid disable wlan 1
(Cisco Controller)>config wlan enable 1
(Cisco Controller)>save config
```

**ステップ 7** チャンネル、送信出力、および Radio のチャンネル幅を設定するには、最初に Radio を無効にして、変更を行ってから再度有効にします。

**2.4GHz の Radio をチャンネル 6 に変更するには、次の手順を実行します。**

```
(Cisco Controller)>config 802.11b disable <ap name>
(Cisco Controller)>config 802.11b channel <ap name> <ap name> 6
(Cisco Controller)>config 802.11b enable <ap name>
```

**2.4 GHz の Radio 送信出力をレベル 3 に変更するには、次の手順を実行します。**

```
(Cisco Controller)>config 802.11b disable <ap name>
(Cisco Controller)>config 802.11b txPower <ap name> <ap name> 3
(Cisco Controller)>config 802.11b enable <ap name>
```

**5 GHz の Radio をチャンネル 44 に変更するには、次の手順を実行します。**

```
(Cisco Controller)>config 802.11a disable <ap name>
(Cisco Controller)>config 802.11a channel <ap name> <ap name> 44
(Cisco Controller)>config 802.11a enable <ap name>
```

**5 GHz の Radio 送信出力をレベル 5 に変更するには、次の手順を実行します。**

```
(Cisco Controller)>config 802.11a disable <ap name>
(Cisco Controller)>config 802.11a txPower <ap name> <ap name> 5
(Cisco Controller)>config 802.11a enable <ap name>
```

**5 GHz の Radio チャンネル幅を 40 MHz に変更するには、次の手順を実行します。**

```
(Cisco Controller)>config 802.11a disable <ap name>
(Cisco Controller)>config 802.11a chan width <ap name> 40
(Cisco Controller)>config 802.11a enable <ap name>
```

2800 および 3800 シリーズのアクセスポイントをサイトサーベイに使用する場合、XOR Radio についての次の内容に注意してください。

1. XOR Radio のデフォルト動作ステータスは 2.4GHz です。

2. 2.4 GHz から 5 GHz へアンテナ内蔵アクセスポイントの XOR Radio の設定を変更できます。また、その逆も可能です。アンテナ外付けアクセスポイントでは、XOR Radio で設定を変更する前に外部アンテナが DART コネクタに接続されている必要があります。
3. XOR (2.4 GHz) Radio が 5 GHz で動作するように設定されると、5 GHz 専用 Radio から 100 MHz 以上チャンネルを離す必要があります。
4. XOR Radio がアンテナ内蔵アクセスポイントで 5 GHz モードで動作するように設定されると、送信出力 (tx) の出力は固定され、変更はできません。

**XOR (2.4 GHz) Radio を 2800 および 3800 シリーズのアクセスポイントで、5 GHz で動作するように設定するには、次の手順を実行します。**

```
(Cisco Controller) >config 802.11-abgn disable ap
(Cisco Controller) >config 802.11-abgn role ap manual client-serving
(Cisco Controller) >config 802.11-abgn band ap ap 5GHz
(Cisco Controller) >config 802.11-abgn enable ap
```

**5 GHz で動作する XOR Radio をチャンネル 40 に設定するには、次の手順を実行します。**

```
(Cisco Controller) >config 802.11-abgn disable ap
(Cisco Controller) >config 802.11-abgn channel ap ap 40
(Cisco Controller) >config 802.11-abgn enable ap
```

**5 GHz で動作する XOR Radio のチャンネル幅を 40 MHz に設定するには、次の手順を実行します。**

```
(Cisco Controller) >config 802.11-abgn disable ap
(Cisco Controller) >config 802.11-abgn chan_width ap 40
(Cisco Controller) >config 802.11-abgn enable ap
```

---